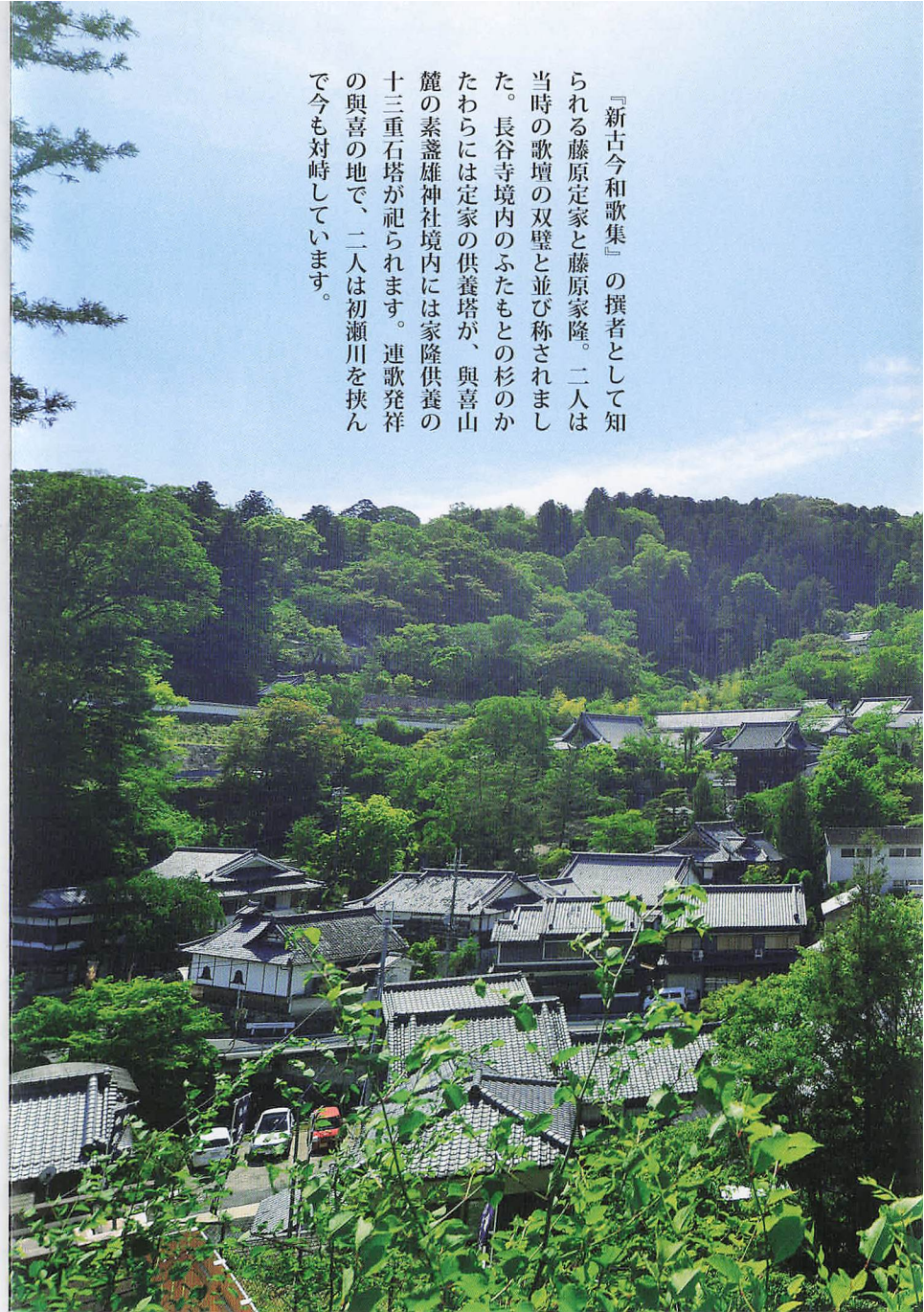


『新古今和歌集』の撰者として知られる藤原定家と藤原家隆。二人は当時の歌壇の双壁と並び称されました。長谷寺境内のふたもの杉のかたわらには定家の供養塔が、與喜山麓の素盞雄神社境内には家隆供養の十三重石塔が祀られます。連歌発祥の與喜の地で、二人は初瀬川を挟んで今も対峙しています。



吉のお宮

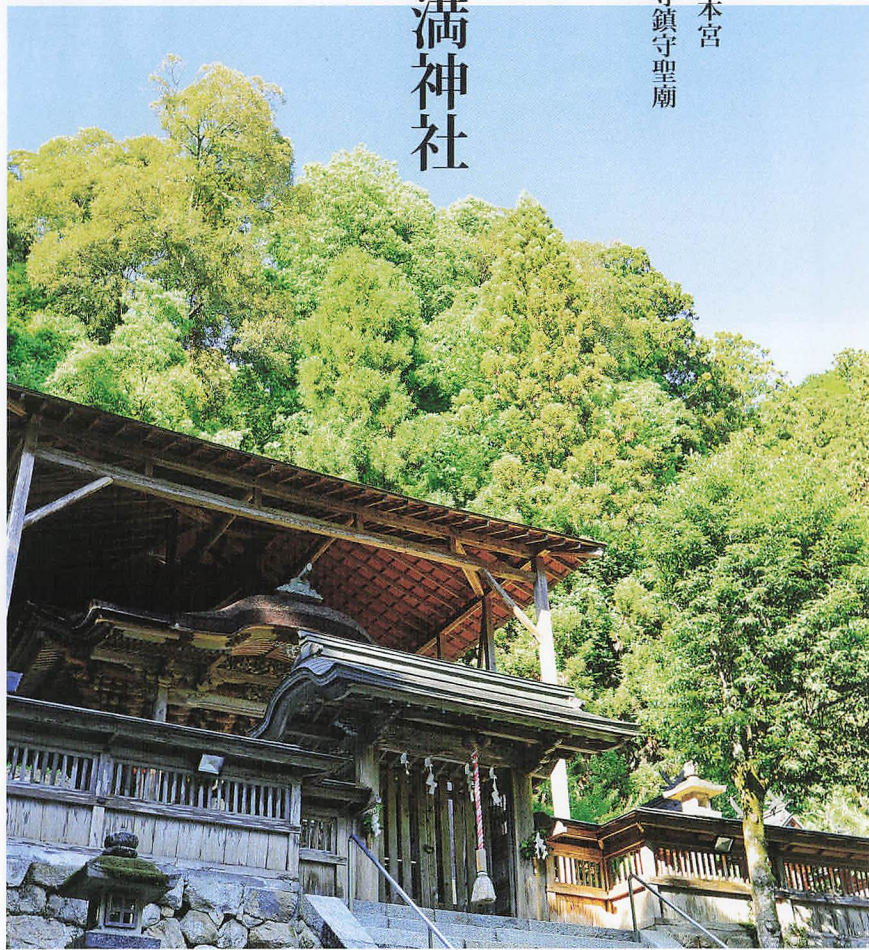
日本最古天神

天照大神初降臨の地

元伊勢第三番・伊豆加志本宮

真言宗豊山派総本山長谷寺鎮守聖廟

與喜天満神社



〈與喜天満神社 年中行事〉

- 1月1日 元旦祭
- 2月第3日曜日 祈年祭、菅公祭
- 5月7日 松浦武四郎公祭
- 6月30日 大祓(夏越し)
- 10月第3土曜日 大祭宵宮祭
(20日の場合は13日)
- 10月第3日曜日 與喜天満神社例大祭
(21日の場合は14日) (初瀬まつり)
- 11月第3日曜日 新嘗祭
- 12月31日 大祓式(年越し)、除夜祭



初瀬の秋の風物詩「初瀬まつり」。
神輿や太鼓台が初瀬の街を勇壮に練り歩きます

◇毎月1日・20日11時より月次祭を行います。自由にご参列下さい。
◇入試合格・学業成就・家内安全・厄除けなどご祈禱を希望される方は事前にご予約下さい。

〈みちしるべ〉

★お車でお越しの場合
周辺私営駐車場をご利用ください
【大阪方面から】
西名阪道・郡山IC(神社まで約30分)
【和歌山・大阪方面から】
南阪奈道路・葛城IC(神社まで約30分)
【名古屋方面から】
名阪国道・針IC(神社まで約25分)



★電車でお越しの場合
最寄り駅「長谷寺駅」からは徒歩約20分です
【大阪方面から】
近鉄大阪上本町駅～(大阪線、快速急行・急行)～大和八木駅・桜井駅～(準急・普通乗り換え)～長谷寺駅
【京都方面から】
近鉄京都駅～(京都線・橿原線、急行)～大和八木駅～(大阪線、準急・普通乗り換え)～長谷寺駅

よき 與喜天満神社

〒633-0112 奈良県桜井市初瀬1番地
TEL 0744-55-2300 FAX 0744-55-1709
ホームページ <https://www.yokitenmanjinja.jp/index.html>

日本最古の

神仏習合の聖地

“隠国の泊瀬の小国”

長谷寺を一望する

與喜山からの眺め

(鍋倉神社境内地より)





天照大神がお隠れになった「天の岩戸」を彷彿する3つの磐座

右下・鶴形石…天照大神 石垣上 注連縄左・杵形石…天兒屋根命 注連縄奥・掌石…太玉命



直径約19cm、重さ約770g
六花形の銅鏡を頸部に嵌めこむ
日本最古の木造天神坐像

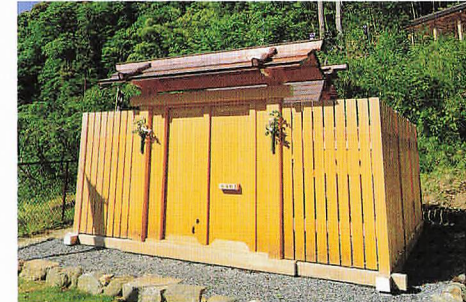
木造天神坐像(鎌倉時代、正元元年(1259)、重要文化財)



玉鬘観世音菩薩坐像
(奈良・長谷寺蔵、無断転載を禁ず)



玉鬘姫命を祀る玉鬘神社。女性守護・良縁・復縁、待ち人・失せ物探し、旅・交通の安全にご神徳



崇神天皇7年創祀、延喜式内社・鍋倉神社



素盞雄神社。イチヨウの巨樹繁る境内には、藤原家隆供養の十三重石塔が建つ

〈與喜天満神社ご由緒〉

古代より日のいずる聖なる地であり、天照大神が天上より初降臨された地として崇められてきた初瀬の與喜山。與喜天満神社はこの緑豊かな與喜山の中腹に鎮座します。

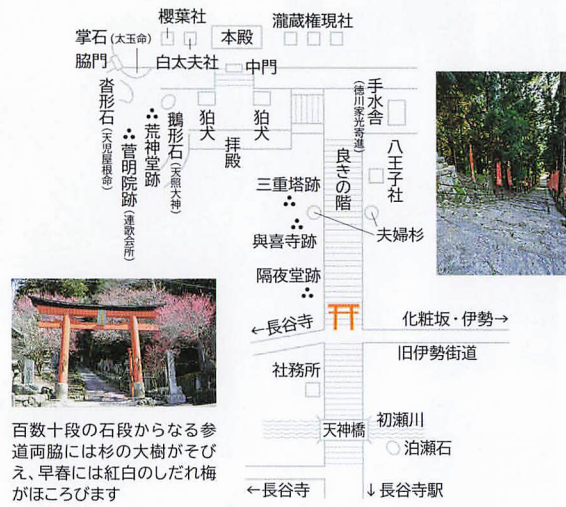
当社創祀は天慶9年(946)と古く、日本最古の天神信仰のお宮として知られます。はじめは神祠を設けずに松の大樹をご神体としていましたが、役行者の再身ともいわれた神代武磨にご神託があり、天曆2年(948年)7月に松樹のもとに宝殿を建て、ご神霊をお祀りしました。さらに同年9月20日、現在地に

社殿を建て郷内で氏神として祀ったのが與喜天満神社です。「與喜」の名は瀧蔵権現がこの地を「良地」とおっしゃったことに由来し、ゆえに「吉のお宮」とも呼ばれています。現在の社殿は文化15年(1818)2月20日、総本山長谷寺第39世能化唯阿僧正が再建されたものです。

ご祭神は初瀬に遠祖をもつ観音信仰篤き学問の神・菅原道真公で、入試合格・学業成就・子育てに靈驗あらたかといわれています。また境内には瀧蔵権現社、白太夫社、櫻葉社、八王子社をお祀りします。

〈與喜天満神社の文化財〉

- 木造天神坐像
(鎌倉時代、正元元年(1259)、重要文化財)
- 木造天神坐像
(桃山時代、市指定文化財)
- 木造神像6体
(平安～鎌倉時代、市指定文化財)
- 鉄湯釜
(桃山時代、市指定文化財)
- 本殿1棟附棟札1枚
(江戸時代、市指定文化財)
- 與喜山暖帯林
(国指定天然記念物)
- 切石御旅所の紅梅
(江戸時代、市指定天然記念物)



百数十段の石段からなる参道両脇には杉の大樹がそびえ、早春には紅白のしだれ梅がほころびます

〈與喜山の神々〉

與喜山周辺には当社をはじめ、瀧蔵神社、白鬚神社、長谷山口坐神社など多くの神々が鎮座し、「隠国の神々」として「大和さくら100選」にも選ばれています。與喜山麓には玉鬘神社、鍋倉神社、素盞雄神社の3社が鎮座します。



■夢占いの神・玉鬘神社

天照大神の初のご降臨の地として、與喜山は太陽信仰、女性信仰の原点の地であり、與喜天満神社は元伊勢第3番目の伊豆加志本宮にも比定されています。紫式部はこの地を舞台に『源氏物語』第二十二帖「玉鬘」を著します。後年、その玉鬘が長谷寺を参詣して尼になり、如意輪観音として現れたという信仰が生まれ、玉鬘を敬愛する尼僧によって観音坐像を本尊とする「玉鬘庵」が結ばれました。本居宣長の『菅笠日記』にも登場する玉鬘庵ですが、長らく尼の墓石寂しく苔むしていたため、平成30年、新たに玉鬘神社として創始されました。

■延喜式内社・鍋倉神社

延喜式内社である鍋倉神社のご祭神は、大倉比売命、別名・下照姫です。『古事記』においては大国主命の娘として描かれ、その美しさは、衣を通して地を照らすほどであったといえます。多くの神々が古代より祀られる初瀬の地にあって、鍋倉神社のみ明治41年に素盞雄神社に合祀されていましたが、平成30年、社殿が再興されました。女性守護・良縁・復縁、また豊穡の神として鎮座されます。

■疫病除けの神・素盞雄神社

神殿大夫武磨が與喜天満神社に菅原道真公を迎えるとき、天照大神の弟神である素盞雄命の霊を鎮めるべきとして社殿を構えたと伝えます。ご祭神は素盞雄命、大倉比売命で、のち祇園信仰の高まりとともに疫病除けの神として信仰を集めました。明治維新までは宮寺として「廊土寺(または序土寺)」も置かれました。境内には、樹高約40m、周囲の太さ約7mの県下最大級のイチヨウの樹が繁り、晩秋には黄葉が見事です。